

# 関係—河口龍夫

1997年9月9日(火)—10月19日(日)

開館時間：午前10時—午後6時(入場は午後5時30分まで) 毎週金曜日は午後8時まで(入場は午後7時30分まで)

休館日：月曜日 ただし、9月15日(月・祝)開館、翌16日(火)休館

入場料：一般 600円(480円) 大学・高校生400円(320円) 中・小学生200円(160円)

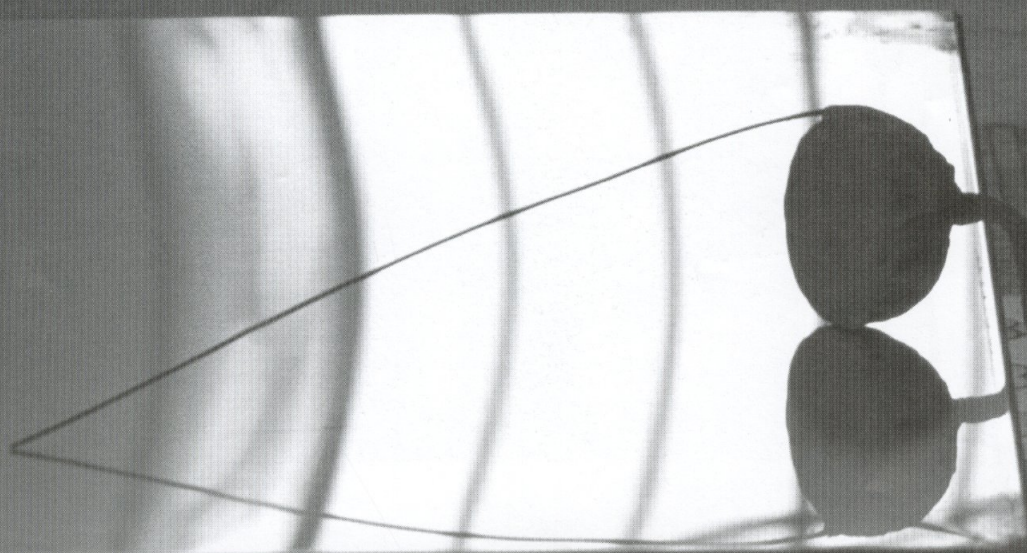
( ) は団体30名以上、入場料は消費税込み

主催：千葉市美術館

ハローダイヤル：043-227-8600

同時開催

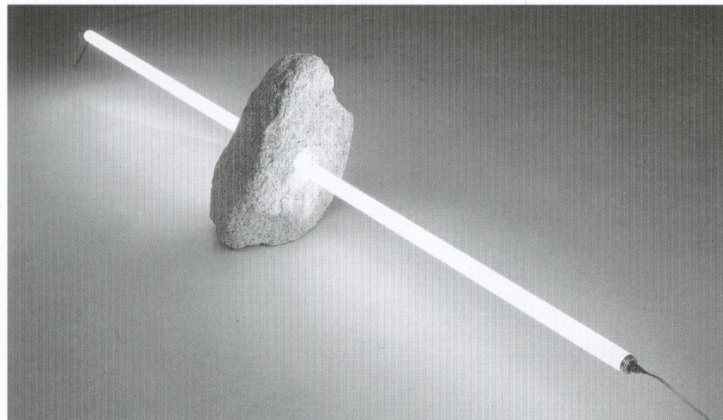
日本の版画 I・1900—1910・版のかたち百相(9月9日—10月12日)



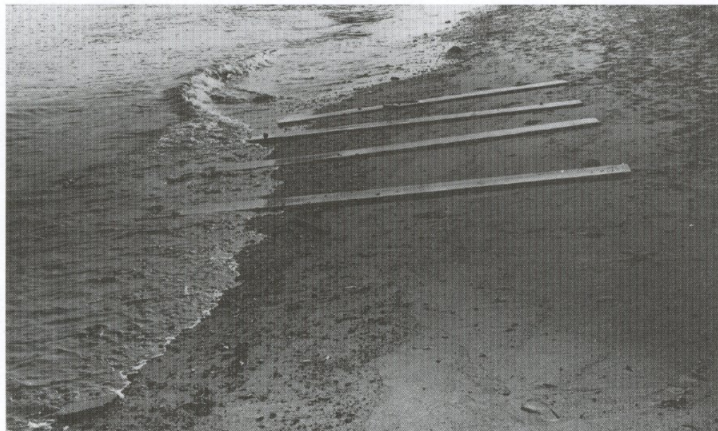
河口龍夫氏(1940年生まれ)は、1960年代なかばに制作を開始しています。70年代からは国内はもとより海外の展覧会にも参加し、人間の認識や知覚の根源に対して問いかけようとする制作の姿勢は現在高い評価を受けています。

河口氏は1970年に「関係」というタイトルの作品を発表します。氏の制作のなかでこのことばは以後タイトルとしてさまざまな作品に現れています。そのために「関係」ということばは単に氏にとってひとつの作品の発想、コンセプトを示すだけでなく、制作活動そのものを考えるうえで重要なことばとなっています。

本展は、作品名に「関係」ということばが初めて用いられるようになった1970年代初期の作品と、植物の種子を鉛や蜜蝋(みつろう)などの素材によって封印された作品を中心とした90年以降の作品群、そして千葉市内で発見された2000年前のハス「大賀蓮」を用いて制作された新作などあわせて約50点の作品によって構成されています。通時的な回顧展の形式ではなく、ひとつのことばを手がかりとして、1970年代と90年代という限定されたふたつの時期の作品を対比的に展示することによって作家の制作がどのように変貌し、また深まりを示しているかを紹介するものです。



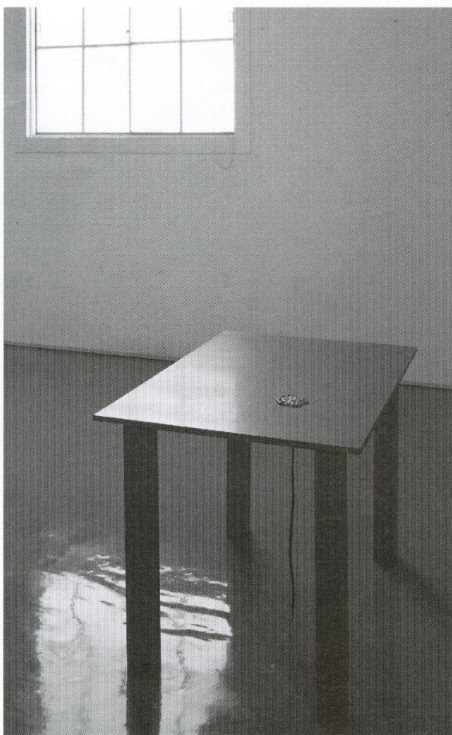
石と光 (1971) 千葉市美術館蔵



陸と海 (1970) 千葉市美術館蔵



関係一連の時・葉緑素 (1992) 千葉市美術館蔵



関係一連の時・蓮の時 (1991)



関係一セミ (1995)

掲載作品撮影  
※ 齋藤さだむ  
※ 高橋和海

## 講演会「自作をめぐる」

講師：河口龍夫

日時：10月4日(土)午後2時より

会場：千葉市美術館11階講堂

※先着順に150名まで受付

## 同時開催

日本の版画Ⅰ・1900-1910・版のかたち百相

(9月9日-10月12日)

## 次回予告

粋人たちの贈り物……江戸の贈物展(10月21日-11月24日)

アメリカン・ストーリー(11月1日-12月23日)

## 千葉市美術館

〒260 千葉市中央区中央3-10-8

Telephone : 043-221-2311

### JR東日本千葉駅利用

●東口より徒歩約15分

●京成バス大学病院行(のりば⑦)「大和橋」下車徒歩2分

●京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば⑦)または小湊バス八幡宿駅行(のりば④)「広小路」下車徒歩1分

●無料巡回シャトルバス・チーバス(のりば⑩)

「中央区役所・美術館前」下車

11:00-18:00の毎時05分と35分に発車(水曜日運休)

### 京成電鉄千葉中央駅利用

●東口より徒歩約10分

※来館者用駐車場は少ないので、自家用車での来館はご遠慮ください。

